



～明るく かしく たくましい子供～

写真はスクールサポートスタッフ
佐々木美智子さんです。毎日の校舎
すべての除菌作業のおかげで、現在
まで感染者0、臨時休業0です。

6年生に感謝の気持ちを

6年生を送る会



2月22日(火)4年生と5年生の実行委員が中心となり「6年生を送る会」を行いました。どの学年も6年生への感謝の気持ちを伝えようと工夫された発表でした。最後は5年生が頑張って作ったくす玉から「ありがとう!」の文字が飛び出し、感動的な会となりました。子供たちの感想を紹介します。[6年生]○「6年生を送る会」では学級毎に出し物をしたり、くす玉を割ったりしてとても楽しかったです。本番(当日)ではできなかったゲームも、ゲーム集会でできてよかったです。○出し物はみんなで楽しくできたと思います。6年生の出し物になったとき、落ち着いて進めることができました。みんなで遊んだり、クイズに答えたりして楽しい会になったと思います。○6送会では、学年、学級毎にとっても楽しい会にすることができました。1・2年生の「あたりまえ体操」や3・4年生の「6年生クイズ」もみんなで楽しむことができました。5年生の作ってくれたくす玉も、とてもうれしかったです。「影当て」(6年生の発表)を成功させることができたので良かったです。○1・2年生、3・4年生、5年生の出し物がとても面白かったです。5年生がくす玉を作ってくれて、割ることができてうれしかったです。6年生が考えた「シルエットクイズ」も楽しんでもらえて良かったです。○僕たち6年生のために6送会を開いてくれてうれしかったです。1年生から5年生までいろいろなゲームをしてくれて楽しかったです。最後に1・2年生からプレゼントもいただき、すごくうれしかったです。[在校生]○今日、6送会で3・4年生はクイズをやりました。私のめあては「スラスラ言う」だったけど引っかけから言えたので良かったです。5年生はくす玉やプレゼントを用意してすごいと思ったし、忙しそうだと思いました。来年は私たちがやるので、しっかり6年生を送ることができるよう頑張ろうと思いました。1・2年生は「あたりまえ体操」の6年生バージョンもやっていたし、6年生に感謝状をあげていたのすごいいい

ました。6年生は「シルエットクイズ」をやってくれて楽しかったです。でも、思った以上に難しかったです。来年は6送会の司会や会場準備を今年の5年生みたいにやりたいと思いました。

クイン先生に感謝の気持ちを！

クイン先生とのお別れ会

3月4日(金)英語指導助手(ALT)のクイン・パートリッジ先生とのお別れの会を行いました。クイン先生は、柳沢小中学校勤務は今年度で終了ですが、来年度も滝沢市で仕事をなさるそうです。お別れの挨拶では、日本に来て初めての勤務地が柳沢小中学校であったため、特別な思い出になったことを英語で話していただきました。感謝の気持ちを、児童生徒を代表して佐々木大翔君が次のような内容をクイン先生に見事な英語で伝えました。○クイン先生へ。私たちに英語を教えてください、ありがとうございました。先生は、僕に英語暗唱大会のために発音の仕方やスピーチの仕方を教えてくださいました。先生はとても優しく、面白かったです。英語の授業の時も同じように指導してくださいました。私たちは先生に心から感謝しています。私たちは、これからも英語の授業を頑張り続けます。クイン先生もお仕事を頑張ってください。本当にありがとうございました。



意見発表会

3月8日(火)中学校 1・2年生は国語の学習で意見文を書き、体育館で発表会を行いました。声量、強弱、間のとり方、抑揚等に気を付けながら発表しました。自分の考えを伝えるための文章構成は小学校から学びますし、教科毎に自分の考えを発言する学習もあります。そのため、他教科でも使う技能の育成にもなりました。生徒の意見文を紹介いたします。(写真は中学校1年の木村美桜さんの発表時のものです。)



○「スマートフォンの必要性」あなたはスマートフォンを持っているだろうか。インターネットの記事によると小学校高学年は40.8%、中学校では72.4%が自分用のスマートフォンを持っているようだ。今、若い世代から、スマートフォンを持つ人が多くなっている。それによって、スマホ依存症や視力低下、高額な月額料金発生等といったたくさん問題点が挙げられている。私たちがスマートフォンを購入する際ゲーム機の代わりや連絡手段と考える人が多いのではないだろうか。しかし、スマートフォンには私たちの命を助けてくれるような機能もいくつかある。1つ目は遠距離でも連絡を取り合える機能である。大事な連絡や緊急の連絡は相手に直ぐ伝えなければならない。誰かの命が関わっていればなおさらだ。スマートフォンが無ければ緊急の連絡はどのようにして送るのだろうか。それを考えると連絡手段として、他の何にも代え難い存在と言えるだろう。電話は文字を打つ必要がないため、すぐに連絡を取り合うことができる。電話とメールを使い分けることでより快適に連絡を取り合えるだろう。2つ目は居場所が分かるGPS機能があるということだ。身内が外出中、事故や事件に巻き込まれてしまったとき、GPS機能によりすぐに駆け付けることができる。ただ、注意すべきこともある。SNSで設定を誤ってしまうと自分の現在地が知らない誰かに表示されてしまう恐れがあることだ。SNSで何か投稿する際は、よく確認してから行う必要があるだろう。3つ目は災害時の緊急速報だ。緊急速報とは災害時、スマートフォンに自動的に届くメールである。この速報は人の命を守るためにいくつか工夫されている。例えば画面の色の組み合わせやお知らせの音だ。色の組み合わせは非常に見やすい黄色と黒が採用されており、音は人をはっと驚かせるようなものが採用されている。驚くと焦りから正常な判断ができなくなる人もいるだろう。しかし、命に関わる場合もあるのだ。危険な状況であることを確実に知らせるためには、はっと驚かせるような色や音を採用せざるを得ないだろう。このように日常生活の中で当たり前に使っているスマートフォンは、時に私たちの命を守ってくれる。このことから私たちの生活には、もはやスマートフォンは必要不可欠なものである。スマートフォンは扱い方によってはマイナス面もあるが、緊急の連絡、居場所の確認、防災・減災等の機能も持ち合わせている。これらは主にスマートフォンにしかない機能であるため、より多くの人が持った方がよいだろう。普段使う機能の他にも、探してみれば、まだまだ便利な機能もあるはずだ。便利な機能と注意すべき点をしっかり理解し、これからもスマートフォンと上手く付き合っていきたい。

中学校2年 三浦 夢穂さん